

各 位

会 社 名 サン電子株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 若井 富幸
 (JASDAQ コード: 6736)
 問 合 せ 先 取締役経理部長 加藤 俊朗
 電 話 番 号 (0587) 55-2201

平成 19 年 3 月期中間業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 19 日に公表しました平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の中間業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

平成 19 年 3 月期 中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,600	500	290
今 回 修 正 予 想 (B)	5,300	280	110
増 減 額 (B - A)	△ 1,300	△ 220	△ 180
増 減 率	△19.7%	△44.0%	△62.1%
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 17 年 9 月 期)	5,906	402	280

(2) 個別業績

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,700	460	270
今 回 修 正 予 想 (B)	4,500	270	50
増 減 額 (B - A)	△ 1,200	△ 190	△ 220
増 減 率	△21.1%	△41.3%	△81.5%
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 17 年 9 月 期)	5,375	400	281

(3) 修正の理由

当中間期につきましては、パチンコ関連事業において、パチンコ業界における規則改正に伴う遊技機の撤去・入替負担により、当社顧客であるホールの新規出店・改装及び周辺機器に対する設備投資が減少し、情報化システムの販売が厳しい状況で推移しました。パチンコ制御基板においても、販売台数が当初予想を下回りましたこと等により、期初の中間予想を下回る見込みとなりました。

また、当社所有株式の評価損約 150 百万円を、特別損失として見込んでおります。

なお、通期の業績予想につきましては、現在見直し中ではありますが、不確定要素が多いことから、今後の状況を見極め確定次第速やかに公表する予定であります。

※ なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものであります。業績予想には様々な不確定要素が含まれており、実際の業績は予想数値と大幅に異なる可能性があります。

以上